

# 34年度本予算きまる

**再建計画を変更★  
総額一六五億五千二百万円**

六月県議会は、七月八日十七日間の会期を終りました  
が、今度の県議会は新議員による初の定例会であり、かつ  
年間本予算などを議する重要な県議会でした。議決さ  
れましたものは、再建計画変更議案を始め、三十四年度  
予算、各種条例案、その他五十件に上りますが、そのうち  
重要だったものについて大要を説明しましょう。

## 入 歳

県税は減  
交付税は増

(昨年比)

本年度は、四月以来暫定予算でやって  
きましたが、当時不明であった地方税の  
減税や、地方交付税のあらましが分りま  
したので、この間いろいろの施策につい  
ても検討を加え、このたび暫定予算もふ  
くめた年間予算をつつたわけで、その  
総額は百六十五億五千二百万円に上つて  
います。

予算編成の基本は六月県  
議会はじめに知事から説明  
がありましたように、まず  
年々かさんでいく人件費を

財政再建計画の線にそっておさえること  
産業の基礎条件の整備を重点的にすゝめ  
ること、来年の国体の準備に万全を期す  
ること、などを目標として、極力才入を  
ふやす一方、旅費や食糧費などの物件費  
はできるだけ節約するようにしました。  
まず今年の県ふところ具合から考え  
ますと、第一図のように県税は地方税減

## 出 歳

旅費・食糧費を節約  
事業費をふやす

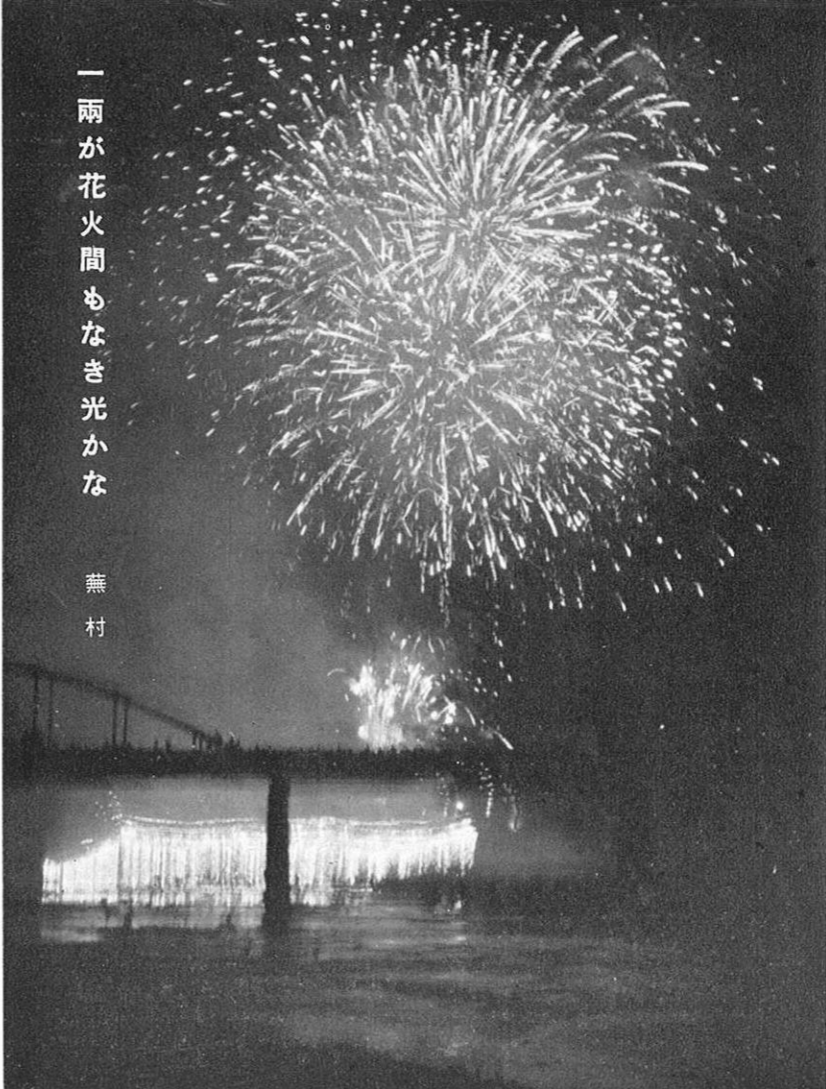
才2回 才出予算比比較表 (単位 100万円)

34年度	人件費 (8,222)	地方債の償還 (2,596)	地方債の発行 (4,318)	公債費 (2,226)	公債費 (1,067)
33年度	(7,710)	(2,641)	(4,362)	(2,277)	(1,042)

税の影響で、昨年  
の最終予算にくら  
べて約三千万円の  
減収はまぬかれな  
いようです。  
地方譲与税は税  
法の改正によりま  
して、一般財源で  
ある入場譲与税は  
へつたのですが、  
道路関係の財源で  
ある道路譲与税は  
ガソリン消費量の  
増加でいくらかの  
増加しております。

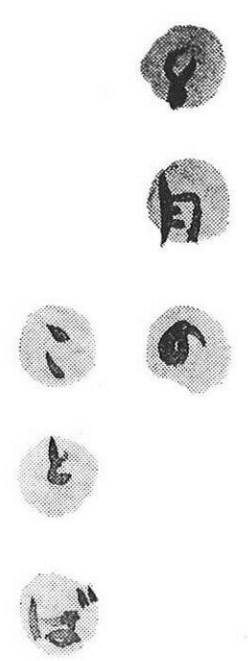
次に才出は第二図のようにまず人件費  
が八十二億二千二百万円に上り、才出の  
約半分をしめています。次に投資事業は  
総額の二六、一％で四十三億一千九百万  
円、そのうち災害復旧費が十四億九千百  
万円ふくまれています。

昨年度最終予  
算にくらべて、  
指定事業を中心  
とする災害以外  
の投資的経費は、約四千万円の増  
加になっております。  
この外過去の借金の元利を返す公債費  
が十億六千七百万円で、昨年にくらべ六  
千四百百万円の増となっており、才出の総  
額は百六十五億五千二百万円です。ただ



一両が花火間もなき光かな

蕪村



夏はもうファイナール(終曲)に近い。  
季節の旗手である油蟬は、根かぎりのテノールで日あし  
の推移を追っかけるが、日ぐらしのソプラノにはもう秋の  
響きがある。

この一と月を、太陽も精一ぱいのエネルギーで地上を照  
りつけ、木という木、草という草は、伸びられるだけ高く  
青空に手をさしのべる。  
人々のいとなみもあわただしい。

中でも田植の後にひきつづく農家の忙しさは、秋の収穫  
までノン・ストップだ。じりじりとやきつける真夏の日ざ  
しに、熱湯のような田んぼの中で、雑草や病害虫と取りく  
む日のないなみは、忍苦の連続といつてよい。

だが、人々は眼にしむ汗を泥手におしぬぐいながら、く  
ちびるには微笑を忘れない。

一めんの田を色どつて、ぐんぐん伸びていく稲葉のそよ  
ぎに、もう豊饒の秋をえがきながら胸をときめかしている  
からだ。

物の怪(け)のように殺到した夕立が、青田の上に白い  
雨足をしぶかせて走り去つたあと、はるかな地平線を足場  
にして、大きく立ちはだかつた七色の虹。

雨に洗われた芦原の中にわきたつよしきりの声には、さ  
わやかな秋のプレリュード(前奏曲)が聞かれる。

次に一般財源で最も金額の大きい地方  
交付税は、県議会でもいろいろ論議がか  
わされました末に四十六億三千二百万円  
を計上しました。これは昨年の最終予算  
にくらべて二億三千二百百万円の増です  
が、減税などの見返りとして交付税率が  
一％引上げられたことや交付税計算方法  
の改正などもあつて、この程度ののびを  
見込んだわけです。  
又才入のうちでもっとも大きな比率を  
もつ国庫支出金は、昨年度最終予算より  
三億二千五百万円も減つています。これ  
は昨年度大きな災害もなかつたし、災害  
復旧工事が順調に進んで、今年度はこれ  
に対する国庫補助金が大巾に減つてきた  
ことによるものです。